

<学校名> 上尾市立上平北小学校
<所在地> 上尾市大字南287番地
<電話> 048-775-4427
<本事例の特徴>

学習内容とハロウィンの関連や、ICTを使う活動を展開する事例を紹介する。また、児童は英語表現で困ったことがあると、ALTに何と言ったらいいのか質問するなど、ALTを身近な存在として認識している様子も紹介する。

<具体的な取組や成果>

○アクティビティの工夫

- ・2年生の英語活動の授業の様子

第1・2学年では、ハロウィンの仮装と音楽、映像で異文化への理解を深めた。今までに習った会話表現“How many?”や“Who are you?”と、ハロウィンに関する単語を組み合わせゲームをした。国語で学習した物語教材の英語表記の本にも触れ、児童は外国でも同じ物語が読まれていることに驚きを感じていた。



- ・5年生の外国語の授業の様子



“What time do you get up on Sundays?”では、単元内で使用する語彙のフラッシュカードを一部ICTの力を借りることによって、児童の興味を引いた。個人用の端末を使うので、自分だけのフラッシュカードとして扱うことができた。児童は「友達の休日の過ごし方を聞き出そう。」というめあてのもと、個人用の端末を使ってインタビューをした。分からない英語表現はALTに聞くなど、英語で話したいという意欲を感じた。

○児童の感想より（5年生の一部）

- ・寝る時間や夜ご飯の時間も聞いたのですが、好きな色を聞いたら同じでびっくりしました。
- ・英語でインタビューしたら、友達の知らないところとかも分かったので楽しかったです。
- ・自分の思いを友達にいっぱい伝えられたので楽しくできました。
- ・インタビューするとき英語だと言い方が分からないものもあった。いろいろ言葉を覚えた後に、もう一度インタビューしたいです。
- ・時間を聞くと、相手が何時に何をしていたことが分かったので良かったです。
- ・友達と色々な会話ができて、好きなものが同じだったりして、とても楽しかったです。